

武雄中学校校内研修会

2021.01.13.

更新版

主体的に学習に向かう態度の評価について

佐賀大学 竜田 徹

(1)大前提

「思考・判断・表現」:やっているか、できているかを評価する。

「主体的に学習に向かう態度」:やろうとしているかを評価する。

なぜ振り返りをするか? =自分の学びの状況を客観的に把握する機会を設けたほうが、そうしない場合に比べて、学び続ける姿勢の育成に効果的だから。振り返ることで、自己の課題や目標を理解したり、学ぶとはどういうことかについての考え(学習観)を深めることができるから。

(2)態度の捉え方

態度を「スキル」と捉える(授業で身に付けさせていくものと考え)。

そして、多くの生徒にAがつくように指導・評価する。「でたとこ勝負」ではなく、指導の結果として表れるものと考え。「〇〇科の学習では、こういう発言が/こういう振り返りの文章が、主体性のあらわれなんだよ」と伝える。

「こういう項目を書けるようになってほしいんだよ」「ここに書けるということが主体的に学ぶ姿勢のあらわれなんだよ」と伝える。要するに、結果がでるように指導する。

①と②の両方を身に付けることが大切だ、ということも伝える。

① 粘り強さの側面=教科の見方・考え方、教科への思い入れ、その教科ならではの用語・概念、教科らしさについて述べている。

② 試行錯誤の側面=学習力、学習への向き合い方、学習のプロセス、学び方の工夫について述べている。(1)授業の中で (2)授業の外で

(3)評価規準の例

振り返りの記述(談話)において、①・②の側面とも、

・一つも書けない。書こうとしていない。:C

・どの授業・単元・教科でも書ける漠然とした記述。書こうとしているが具体性に課題:B

・当該期間にその授業・単元・教科を学んだことがわかる具体的な記述。:A

・上のことを裏付ける根拠や事例を挙げている。:A

(4)自分の首を絞めない評価方法

学習評価の役割=次の学習指導に役立てること。A~Cを明確にすることで、次にだれに何を指導するかが明確になる。CやBの生徒がBやAになるように指導する。

Aと判断される具体的な記述例(又は、ルーブリック)を教科内で共有するのはとても効果的。

各教科でAやBと判断した生徒の記述例2~3編を、研究のまとめに含めてほしい。判断に迷った事例も含めて挙げていただくと、今後の役に立つ。

生徒たちにとって書いて楽しく、教師にとって読んで楽しく評価しやすい方法を追究する。

(例)評価対象を一つの単元に精選する。

(例)文章を書くのが苦手な生徒、振り返りの記述と実際の様子との間にギャップがある生徒には個別のアプローチをするのが有効。面談を実施する(話し言葉による振り返り)、教師の見取りを加味する、など。

武雄中学校校内研修会

2020.09.23.

変更前

主体的に学習に向かう態度の評価について

佐賀大学 竜田 徹

(1)大前提

「思考・判断・表現」:やっているか、できているかを評価する。

「主体的に学習に向かう態度」:やろうとしているかを評価する。

(2)態度の捉え方

態度を「スキル」と捉える(授業で身に付けさせていくものと考え)。

そして、多くの生徒にAがつくように指導・評価する。「でたとこ勝負」ではなく、指導の結果として表れるものと考え。「〇〇科の学習では、こういう発言が/こういう振り返りの文章が、主体性のあらわれなんだよ」と伝える。

「こういう項目を書けるようになってほしいんだよ」「ここに書けるということが主体的に学ぶ姿勢のあらわれなんだよ」と伝える。要するに、結果がでるように指導する。

①と②の両方を身に付けることが大切だ、ということも伝える。

① 粘り強さの側面=教科の見方・考え方の獲得/教科への思い入れの深化

② 試行錯誤の側面=学習力の発揮/学習への向き合い方の深化

(1)授業の中で (2)授業の外で

(3)判断基準(例)

①・②の側面とも

・一つも書けない。:C

・どの授業・単元・教科でも書けそうな記述をしている。:C

・当該期間にその授業・単元・教科を学んだことがわかる記述をしている。:B

・上のことを裏付ける根拠や事例を挙げながら記述している。:A

(4)自分の首を絞めない評価方法

生徒たちにとって書いて楽しく、教師にとって読んで楽しく評価しやすい方法を追究する。

(例)評価対象を一つの単元に精選する。

(例)不十分な生徒に関しては面談を実施したり、他の単元で様子を加味したりする。

きっかけカード

名前

この単元／授業の学びを通して、または、きっかけにして、あなたに次のようなことが起こりませんでしたか？
授業や生活のことをよく思い出してみましょう。



1 _____の力を伸ばすことができたと思います。
どんな力が伸びた？ どうしてそう思う？→

(粘り強さ)

2 _____に対する感じ方が変わりました。
それはなぜ？ どんなふうに？→

(粘り強さ)

5 学習の中で迷ったり悩んだりした場面がありました。乗り越えました。
詳しく教えて？→

(試行錯誤)

7 学んだことが授業以外の場面につながりました。生活にこんな変化がありました。
詳しく教えて？→

(試行錯誤)

9 新しい目標や、次に取り組みたいことが見つかりました。
詳しく教えて？→

(試行錯誤)

3 学習目標をクリアするために、いろいろなやり方を試してみました。
詳しく教えて？→

(試行錯誤)

4 クラスメイトの話や発表が印象に残っています。
だれのどんな話？→

(試行錯誤)

6 過去の学習内容や学習方法が役に立ちました。
いつのときの？ どんな？ →

(試行錯誤)

8 _____ときのコツをつかみました。
それは何？→

(粘り強さ)

<使い方>

- ・青から1枚、黄色から1枚を選び、ノートに書いたり、グループやペアで話したりしましょう。
- ・担当の先生や友達と相談して。今回使うカードをどれにするか決めましょう。
- ・_____には教科名や、その教科ならではの用語が入ります。用語の例は担当の生に尋ねましょう。
- ・できるだけいろいろなカードで書けるようになりましょう。